



大阪経済記者クラブ会員 各位

実証データを基に、飛躍的成長を果たすと期待される有望ベンチャー企業を選定！
大商が徹底的に支援し、その成長を加速させる！

“大商EVEシステム” 第8期支援対象ベンチャー企業決定！

大阪商工会議所ベンチャー振興委員会

大阪商工会議所ベンチャー振興委員会(委員長 = 米田道生・(株)大阪証券取引所代表取締役社長)は、将来有望なベンチャー企業の成長を加速させる支援事業「大商EVEシステム」の対象企業として、(株)E.I.エンジニアリング、山一建機(株)、アレックスエンジニアリング(株)の3社【詳細は<支援対象企業の概要>ご参照】を「大商EVEシステム第8期支援対象企業」として選出した。

対象企業の選出については、支援希望があった15社に対して書類審査および、4月22日に個別面談(一次審査)を実施。うち6社は5月27日のプレゼンテーション(二次審査)に進み、その結果、3社が選出された。

今後、大阪商工会議所は支援対象企業が掲げる具体的な目標の達成を目指し、以下の支援メニューをはじめとして、3社の実情に応じて具体的な支援を実施する。

「大商EVEシステム」の支援メニュー

- ・「今後成長が見込まれる有力なベンチャー企業」としてPR
- ・ビジネスプラン発表会・商談会の実施
- ・大手企業等との事業提携へ向けての個別コーディネート
- ・投資ファンドやベンチャーキャピタル(VC)からの資金調達
- ・企業コンサルタントなどによる定期的な経営アドバイス など

「大商EVEシステム」とは

神戸大学・忽那憲治(くつな・けんじ)教授が、大阪市内の設立後10年を経過した企業を対象に行った調査(平成15年実施)に基づき、創業時にビジネス・プランを作成している、外部株主の導入に積極的である、従業員の教育に力を入れている等、起業後10年間に雇用を伸ばしている企業が有する主として14の共通点【詳細は<大商EVEシステムの概要>ご参照】を多く有する、アーリーステージのベンチャー企業を、成長が見込まれる企業と選定。それらの企業を徹底的に支援し、その成長を加速化させることを目的としたベンチャー支援事業。平成17年度に開始した本事業により認定された企業はこれまで計13社【詳細は別紙ご参照】で、今回3社が新たに加わることになる。

EVE System = Excellent Venture Encouraging System

<本件担当>

大阪商工会議所 経済産業部ベンチャー振興担当(石井、松本)

TEL: 06-6944-6403 FAX: 06-6944-6249 e-mail: ishi@osaka.cci.or.jp



< 支援対象企業の概要 >

株式会社E.I.エンジニアリング

(<http://www.eie-e.com/>)

【代表者】 小川 彰彦

【役職名】 代表取締役社長

【設立】 平成17年3月25日

【資本金】 30,000千円

【従業員数】 12名

【所在地】 〒651-0095 神戸市中央区旭通210-18

【連絡先】 TEL：078-222-8250 FAX：078-222-8258

【事業内容】 省エネルギー・CO₂削減コンサルタント

【支援対象事業】

エネルギーの解析診断と提案、エネルギー設備設計支援、ソフト開発、自社開発ソフト「ENEPRO21」のライセンス使用・支援サービス。地球温暖化防止とCO₂削減に貢献するため、既設設備の正確なエネルギーの解析と診断、適正なエネルギーコストを算出するための自社開発ソフト「ENEPRO21」ソフトを提供。省エネ・省コスト・CO₂削減のコンサルタントにも応じる。また、エネルギー設備の最適設計及び基本設計業務も行なう。

省エネ対策はすでに多くの企業では講じられてきているものの、最新の高性能ソフトによってさらなる省エネが見込まれることから、温暖化対策、経費削減を検討する企業へのPRを支援する。



山一建機株式会社

(<http://www.yamaichikenki.co.jp>)

【代表者】 山根一行

【役職名】 代表取締役

【設立】 平成3年6月1日

【資本金】 27,000千円

【従業員数】 1名

【所在地】 〒731-0154 広島市安佐南区上安1-17-12

【連絡先】 TEL : 082-878-6206 Fax : 082-878-6207

【事業内容】 特殊舗装機械道具事業建設機械、エコ商品に関する商品の製造・卸・小売

【支援対象事業】

保水性に優れ、人と環境に優しいエコ商品「真砂土ブロック」の製造・卸・販売。

「真砂土ブロック」は、太陽の照り返し現象を緩和する機能がある一方、優れた保水性から、コンクリートに比べて表面温度の上昇を10度近く抑えることができる。

都市の各所（歩道、駐車場、ビルの屋上など）に使用することで、ヒートアイランド現象の緩和に資するとみられることから、公共施設や環境CSRに取り組む企業などに対し、幅広く採用されるよう支援する。



アレックスエンジニアリング株式会社

(<http://www.xela.jp/>)

【代表者】 須川 章

【役職名】 代表取締役社長

【設立】 平成9年4月15日

【資本金】 15,000千円

【従業員数】 12名

【所在地】 〒558-0004 大阪市住吉区长居東4-12-9

【連絡先】 TEL : 06-6608-6112 Fax : 06-6608-6113

【事業内容】 工業熱処理炉・輸送機器・自動機器・食品機械（ ）の開発・
設計・製造・販売
大手回転寿司チェーンのオーダーレーン（特急レーン）など

【支援対象事業】

食品業界向けコンベア（分解、組立、移動が簡単で、自由にレイアウトできる回転寿司コンベア）の製造・販売。

同コンベアは、多品種少量生産に対応するためのシステムとして、食品業界以外でも利用が可能。コンベアをユニット化することで自社の専用ラインを構築できる。また、ユニット交換が容易であることから故障リスクと修繕のためのタイムロスも軽減できる。

現在、製造業では多品種少量生産へのシフトが顕著であり、生産ラインの見直しを希望する食品業界以外の企業に対する同コンベアの活用促進を支援する。また、回転寿司業界への拡販も支援する。



< 大商 E V E システムの概要 >

支援対象企業候補：

大阪・関西に拠点を有する創業後3年以内（創業前の個人も可）の企業で、主として以下の特徴を有する企業

- 企業設立時にビジネスプランを作成している
- 経営者が企業の経営企画、財務、研究開発等に携わった経験がある
- 以前に経営者としての経験がある
- 以前に企業設立の経験がある
- 以前に事業失敗の経験がある
- 異業種の企業での勤務経験がある
- 企業設立前に高い収入を得ていた
- 「自身の技術を試したい」など積極的な動機により企業を設立している
- 既存の企業・組織と全く関係のない企業として設立している
- 企業設立時の役員数が少ない
- 従業員の教育に力を入れている
- 経営者自身の自己研鑽（経営者向け講座等）に力を入れている
- 外部株主の導入に積極的である
- 同業種の企業間ネットワークの構築を重視していない
- その他、成長する企業の特徴を有する企業

支援対象企業の募集と選定：

随時募集

同システムでの支援を希望するベンチャー企業は、規定の応募用紙に必要事項を記載し申し込み。書類選考後、審査委員会での面談等を経て支援対象企業を決定する

審査委員会構成

- 座長：忽那 憲治・神戸大学 経営学部/経営学研究科 教授
- 委員：川分 陽二・フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役社長
- 立野 純三・株式会社ユニオン 代表取締役社長
- 細川 信義・エンゼル証券株式会社 代表取締役社長
- 森中 一郎・株式会社エフアンドエム 代表取締役社長
- 山科 裕・株式会社ビジネスデザイン 代表取締役

毎回2社程度支援企業を選定

支援内容例：

- 優れたビジネス案件には、最高500万円の出資の可能性（「棧ファンド」からの出資を予定。ただし、該当企業がない場合もある）
- 個人投資家（エンジェル）へのPRツールである「棧ネット」（インターネット上でのマッチングサイト）への登録料(20,000円/年)が無料
- 多業種型総合“展示商談会”「大阪勧業展」出展料(84,000円or63,000円)が無料
- 「今後成長が見込まれるベンチャー企業」として大阪経済記者クラブで公式プレス発表
- 大商のネットワークを使って、大企業との事業提携、ベンチャーキャピタルからの資金調達、大学・研究機関との共同研究、販路開拓などをコーディネート
- 企業コンサルタントなどが定期的に経営アドバイス（年2回程度）

支援期間・目標：

- 1年ごとの更新で、原則として3年間。
- 支援決定時に、支援対象企業ごとに雇用増、売上・利益増、IPO、M&A等の目標を具体的に定める。
- 対象企業が目標を達成した場合等、状況によって支援を打ち切る場合がある。